

まち・ひと・しごと創生

第2期別府市総合戦略

～まちをまもり、まちをつくる。

べっぷ未来共創戦略～

令和2年3月

令和4年3月(一部改訂)

別府市

目次

第1 まち・ひと・しごと創生 第2期別府市総合戦略の策定について	1
1 まち・ひと・しごと創生 第2期別府市総合戦略の策定に当たって	1
2 総合戦略の位置付け	1
3 総合戦略の計画期間	2
4 総合戦略の構成	2
第2 基本方針	3
1 まちの将来像	3
2 4つの基本目標と国及び大分県の基本目標との関係	4
3 横断的な視点	5
4 別府の創生を実現する循環モデル	6
5 将来展望の実現に向けた総合戦略の体系図	7
第3 基本目標	9
1 しごとの創生	
資源(ひと・温泉)をいかして新たな価値を創り、儲かる別府に進化する。	9
2 しごとの創生	
多様性と受容性をいかして、別府に新しいひとの流れをつくり、受け入れる。	16
3 ひとの創生	
ひとを大切に、別府で子どもを産み、育て、生きる。	26
4 まちの創生	
ひととまちをまもり、地域と地域が連携する。	34
第4 施策効果の検証などの実施	44

第1 まち・ひと・しごと創生 第2期別府市総合戦略の策定について

1 まち・ひと・しごと創生 第2期別府市総合戦略の策定に当たって

人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、国では「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、各地方公共団体においては、平成27年度内の「地方人口ビジョン」及び「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定が努力義務とされた。

これを受け、別府市（以下「本市」という。）では、「まちをまもり、まちをつくる。べっふ未来共創戦略」（以下「総合戦略」という。）を策定するに当たり、「産・官・学・金・労・言」を始めとする民間事業者などの関係者から成る「べっふ『感動・共創・夢』会議」を設置し、全6回の会議及び1回の別府市民拡大版での討議などを経て、「人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定した。

総合戦略の実施に当たっては、戦略の施策効果の検証などを実施するため、平成28年度に別府市総合戦略推進委員会を設置し、毎年度、別府の創生に向けた議論と実践を推進している。

この度、令和2年度から始まる「別府市総合計画」及び第2期「総合戦略」を一体的に策定するため、本市の職員で構成する専門部会にて「総合戦略」の案を作成し、別府市総合計画・総合戦略審議会での全5回の審議及び2回の別府市民拡大版での討議を行い、この「総合戦略」の策定に至った。

策定に至るまでの各会議などにおいては、本市のまち・ひと・しごとに関する強み・資源、弱み・課題、施策・取組の実施状況や成果などに加え、国や県の総合戦略なども踏まえ、4つの基本目標と基本的方向、施策や取組、KPI¹などを「総合戦略」として取りまとめた。

総合戦略の策定は、本市の「誇り」を再建し、新たな「誇り」を創生する挑戦である。

2 総合戦略の位置付け

本市は、豊富な温泉、美しく特色ある自然や景観、国際色豊かな大学、充実した医療・福祉、発信力のある文化・芸術などのイベント、そして、多様な人材など、魅力ある資源を豊富に有している。それらの資源が国際観光温泉文化都市という特性をいかし、本市が育んできた多様性と受容性の礎となっている。

まちをまもり、まちをつくり、べっふの未来を共創するためには、本市が有する様々な資源をより有効にいかしていくことが求められる。そのための指針とするために、総合戦略を策定した。

本市の地方創生は、総合戦略を基軸として積極的に推進する。検討した各施策は、現場主義のもと、できることからすぐに実行することなどを基本姿勢として取り組むものである。

¹ KPI（重要業績評価指標：Key Performance Indicator）とは、目標を達成するための取組の進捗状況を定量的に測定するための指標。

3 総合戦略の計画期間

総合戦略の計画期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間とする。

4 総合戦略の構成

総合戦略は、4つの基本目標を定め、各基本目標に、目標の実現に向けた基本的方向、施策、取組、KPIなどを記載している。

項目	説明
基本目標	人口の現状と将来の展望を踏まえた上で、それぞれの地域の実情に応じながら、一定のまとまりの政策分野ごとに、国及び大分県が示す戦略や基本目標を踏まえ設定する目標
基本的方向	基本目標の達成に向けてどのような政策を推進していくかの方向性を定めたもの
施策	基本目標ごとに、それぞれの地域の実情に応じながら計画期間（5年間）のうちに実施する具体的な施策
取組	施策として実施する具体的な取組（事業や各種の活動など）。取組ごとに、最後に箇条書きされているものは、その取組において想定される事業・活動などの例示
KPI	取組の成果について、目標設定や効果検証などを行う上での指標
SDGs ² のロゴマーク	SDGs（持続可能な開発目標：Sustainable Development Goals）とは、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成される国際目標のこと。この総合戦略においては、施策ごとに、SDGsの17の目標のうち関連する目標のロゴを付記している

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



² 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいる。

第2 基本方針

1 まちの将来像

本市は、これまで国際観光温泉文化都市という、「まち」の特性をいかして、多様性と受容性を育んできた。本市は、2000年の立命館アジア太平洋大学（以下「APU」という。）開学と既存の別府大学・別府溝部学園短期大学の存在があいまって、「温泉のまち」に加えて、多文化共生の「大学のまち」という新しい顔を持つに至った。

本市の地方創生の取組を検討するに当たって、「ひと」こそが最も重要で貴重なかけがえない「資源」として認識し、「ひと」を守り、「ひと」をいかすことを第一に考え、温泉を始めとした産業・歴史・伝統・文化を徹底的に磨くことで、この「まち」の未来に新たな価値を創造することを念頭に置いた。

総合戦略と並行して策定した本市の「人口ビジョン」では、国立社会保障・人口問題研究所の推計と本市の現実を直視した上で、次のとおり、目標人口を定めた。

人口ビジョンに基づく将来展望

■ 目標人口

2015年：122,138人 ⇒ 2040年：103,944人
2060年：92,434人

もとよりこの「目標人口」に満足しているわけではない。この数字は、これ以上後退してはならないという意味での「目標人口」でもある。

「まち」まもりと「まち」づくりの情熱と判断力を駆使しながら、堅い板に力を込めて、じわっじわっと穴をくり貫いていく作業を繰り返すように、総合戦略で策定した施策を着実に実行することによって、「まち」をまもり、「まち」をつくり、べっふの未来を共創する。

2 4つの基本目標と国及び大分県の基本目標との関係

本市の基本目標は、国・大分県が示す政策分野ごとの方針を踏まえ、次の4つとする。

《基本目標1》しごとの創生

資源(ひと・温泉)をいかして新たな価値を創り、儲かる別府に進化する。

※対応する国・県の基本目標

国・・・稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
大分県・・・仕事をつくり、仕事を呼ぶ

《基本目標2》しごとの創生

多様性と受容性をいかして、別府に新しいひとの流れをつくり、受け入れる。

※対応する国・県の基本目標

国・・・地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
大分県・・・仕事をつくり、仕事を呼ぶ

《基本目標3》ひとの創生

ひとを大切にし、別府で子どもを産み、育て、生きる。

※対応する国・県の基本目標

国・・・結婚・出産・子育ての希望をかなえる
大分県・・・人を大切にし、人を育てる

《基本目標4》まちの創生

ひととまちをまもり、地域と地域が連携する。

※対応する国・県の基本目標

国・・・ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
大分県・・・基盤を整え、地域を活性化する

なお、国は、「多様な人材の活躍を推進する」及び「新しい時代の流れを力にする」という2つの横断的目標も定めている。

3 横断的な視点

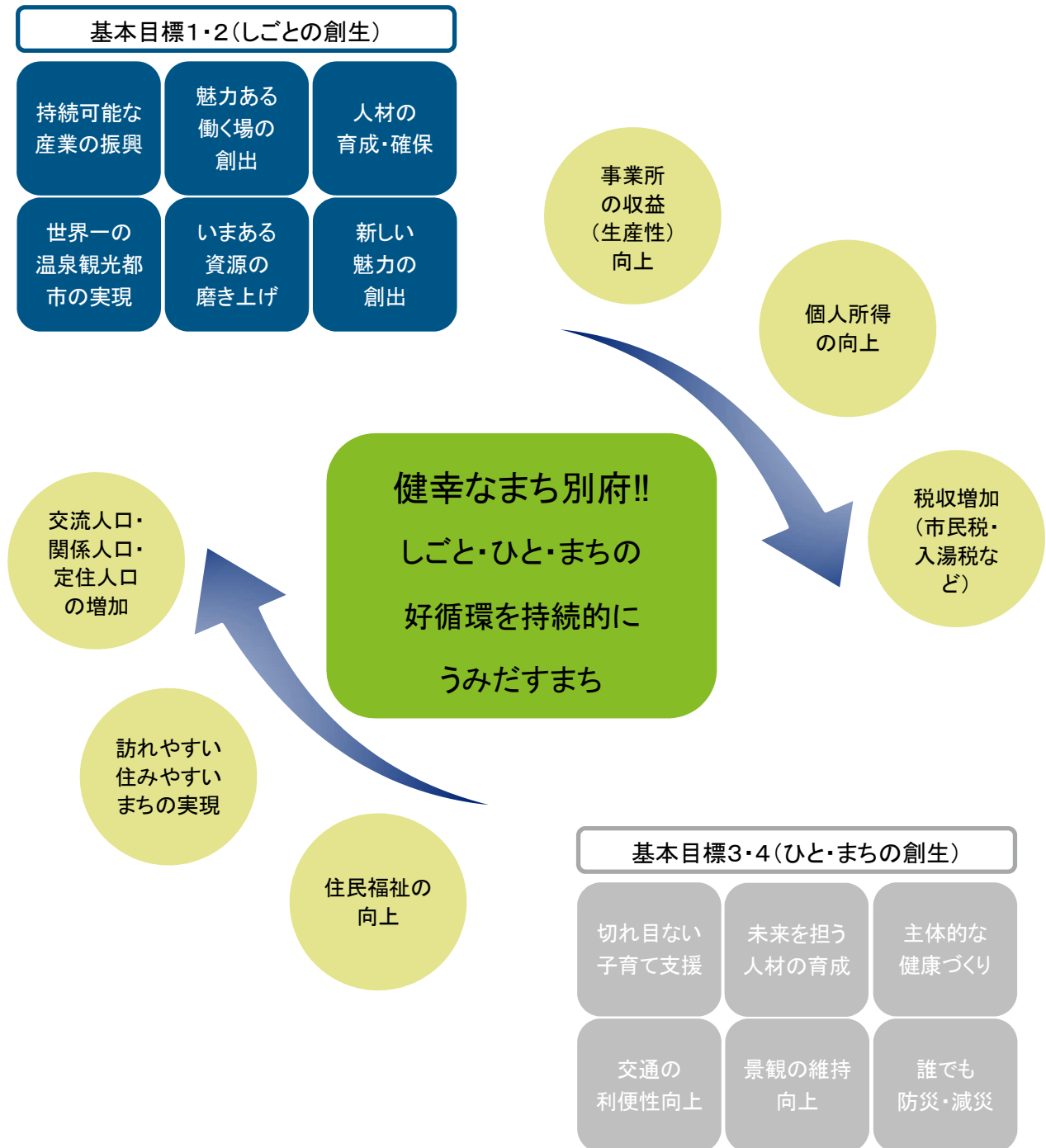
本市の基本目標の達成に向けた施策及び取組においては、多様な人材の活躍の推進や新しい時代の力の活用など、横断的な視点をもって実施に当たる。

横断的な視点	説明
1. 多様な人材の活躍の推進	地方創生の基盤をなす多様な人材の掘り起こし・育成・活躍などの支援、誰もが活躍できる地域社会の推進など
2. 新しい時代の流れを力にすること	未来技術を活用した地域課題の解決・改善、地域における Society5.0 ³ の推進など
3. 財源の確保	企業や個人とのつながりの強化、施策や取組の推進に必要な寄附・投資・事業など
4. 広域連携の推進	地域の経済社会構造全体を大局的に見た地域マネジメント、近隣自治体との連携など
5. SDGs の推進	SDGs の実現に向けた貢献、地方創生における SDGs を原動力とした持続可能なまちづくりなど
6. デジタルファーストの推進	市民サービス、行政運営、観光戦略を中心としたデジタルのちからの最大限の活用など

³ サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）。狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すもので、第5期科学技術基本計画において目指すべき未来社会の姿として提唱された。

4 別府の創生を実現する循環モデル

本市の総合戦略は、しごとの創生によって市民の所得や事業者の収益を増やすことで本市の税収を増やし、ひとの創生やまちの創生を充実させることにより、更なる産業振興と交流人口、関係人口、定住人口の増加につなげていく「好循環モデル」となっている。この好循環を持続的にうみだすことで、生涯を通じて健康で幸せに暮らせるまちの創造を目指す。



5 将来展望の実現に向けた総合戦略の体系図

まち・ひと・しごと創生 第2期別府市総合戦略～まちをまもり、まちをつくる。未来共創戦略～の全体像



目標	施策	取組	頁
基本目標1 しずめの創生	施策ア 「ツーリズムバレー構想」の推進	取組①別府の観光産業に新たな風を吹かせる「起業・創業」の強力な推進	P10
		取組②別府に新たなビジネスを作り出す人財、別府の観光産業を担う人財の育成	P10
		取組③別府を応援してくれるヒト・企業とのつながりの強化	P10
	施策イ 別府市産業連携・協働プラットフォーム「B-biz LINK」と連携した別府の活性化	取組①「B-biz LINK」との連携	P11
	施策ウ 大学などと連携した産業人材の育成・確保	取組①大学などと連携した本市の産業を担う人材の育成	P12
		取組②大学連携の促進と地域協働の推進	P12
		取組③学生の地元就職の促進	P12
		取組④UIJ ターンの促進や外国人労働者の受入などによる市外からの人材確保	P12
	施策エ いまある資源を活用したイノベーションの推進	取組①竹産業のイノベーション	P13
		取組②温泉を活用したビジネス展開の検討	P13
		取組③勤務地・居住地に縛られない企業などの市内におけるビジネス展開の促進	P13
	施策オ 誰もが活躍できる環境の整備や雇用の促進	取組①市内企業などの働き方の多様性の確保	P14
		取組②仕事と子育ての両立ができる社会の実現	P14
		取組③障がい者の活躍促進	P14
		取組④高齢者の活躍促進	P14
施策カ 農林水産業の活性化	取組①農林水産業の活性化	P15	
	取組②農林水産物の特産品化及び地産地消の推進	P15	
基本目標2 しずめの創生	施策ア 世界一の温泉観光都市への挑戦(新たな観光資源の開発と進化)	取組①温泉を活用したスバリゾートの開発	P17
		取組②別府の観光温泉文化の歴史を踏まえた持続可能な集客力ある温泉観光都市づくりの推進	P17
		取組③ユニバーサルツーリズムの先進地に向けた整備	P17
		取組④外国人観光客増加に向けた受入環境の整備	P18
		取組⑤地域公共交通の利便性向上	P18
		取組⑥観光客に対するおもてなし体制の整備・強化	P18
		取組⑦竹産業のイノベーション[再掲:1(エ)①]	P19
	施策イ 観光筋力強化に向けた更なる取組	取組①別府版 DMO 機能の強化	P20
		取組②観光戦略のデジタルファースト	P20
	施策ウ 別府ブランドの構築と飛躍によるひとの流れの拡大促進	取組①多様なシティプロモーションの強化	P21
		取組②海外プロモーションの強化による別府の魅力の世界への情報発信	P21
	施策エ ひとを呼ぶ新しい魅力の創出	取組①市民・学生大同窓会の開催	P22
		取組②ユニバーサルデザインに関連したイベントの推進	P22
		取組③温泉を活用したビジネス展開の検討[再掲:1(エ)②]	P22
		取組④民間活力の導入を含む公園や海岸などの有効活用	P22
取組⑤様々なスポーツイベントの開催推進		P23	
施策オ 「ツーリズムバレー構想」の推進[再掲]	取組①別府の観光産業に新たな風を吹かせる「起業・創業」の強力な推進[再掲:1(ア)①]	P24	
	取組②別府に新たなビジネスを作り出す人財、別府の観光産業を担う人財の育成[再掲:1(ア)②]	P24	
	取組③別府を応援してくれるヒト・企業とのつながりの強化[再掲:1(ア)③]	P24	
施策カ 交流人口の定住人口への転換	取組①ふるさと納税を入り口にした関係人口の増加	P25	
	取組②移住の促進及び定着に向けた積極的な取組	P25	
	取組③高齢者の活躍促進[再掲:1(オ)④]	P25	

目標	施策	取組	頁
基本目標3 ひとの創生	施策ア 時代とまちに即した子育て支援の充実	取組①安心して子どもを預けられる環境整備	P27
		取組②子育て世帯の経済的負担の軽減	P27
		取組③妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援	P27
		取組④仕事と子育ての両立ができる社会の実現[再掲:1(オ)②]	P28
	施策イ 全ての子どもを育む環境の充実	取組①子どもの安全安心の確保	P29
		取組②子どもの健康促進	P29
		取組③地域の子育て力の強化	P29
		取組④子どもの居場所の確保	P30
		取組⑤安全でおいしい学校給食の提供	P30
		取組⑥教育環境の整備	P30
	施策ウ 別府の未来をつくる人材の育成	取組①国際人材の育成強化	P31
		取組②郷土に関する学習「別府学」の実施	P31
		取組③子どもの教育の質の更なる向上	P31
		取組④大学などと連携した本市の産業を担う人材の育成[再掲:1(ウ)①]	P32
	施策エ 男女が出会える環境整備	取組①男女が出会える機会の創出	P33
基本目標4 まちの創生	施策ア 生活の質の向上実現に向けた整備	取組①地域公共交通の利便性向上[再掲:2(ア)⑤]	P35
		取組②誰にもやさしい道づくりの促進	P35
		取組③民間活力の導入を含む公園や海岸などの有効活用[再掲:2(エ)④]	P35
		取組④遊休公有財産(土地・建物など)の有効活用	P36
		取組⑤市街地を中心としたにぎわいの創出	P36
	施策イ 世界一のユニバーサルデザイン都市への挑戦	取組①誰にもやさしい施設整備の促進	P37
		取組②誰にもやさしい道づくりの促進[再掲:4(ア)②]	P37
		取組③こころのバリアフリー化・ユニバーサルデザインの促進	P37
	施策ウ 市民を第一にした行政サービスの実現	取組①市役所の窓口を始めとした行政サービス改革の実行	P38
		取組②市役所の業務改革の実行	P38
	施策エ 行政サービスの実現に向けた財源の確保	取組①新たな財源を活用した取組の強化	P39
		取組②競輪などの既存の事業収益の向上及び活用	P39
	施策オ 文化を切り口にしたまちの可能性の拡大	取組①文化芸術活動を通じたまちづくりの推進	P40
		取組②新図書館などの整備及び活用	P40
	施策カ 協働による持続可能な地域づくり	取組①地域力の維持・向上	P41
施策キ 誰もが安全安心なまちづくり	取組①誰もが安全安心なコミュニティの形成	P42	
	取組②災害に強いまちづくり	P42	
施策ク 健幸を実現するまちづくり	取組①全ての世代の活躍に向けた健康寿命延伸の推進	P43	
	取組②「ゆけむり医療ネット」と連携した医療・保健・福祉環境の強化	P43	

第3 基本目標

1 しごとの創生

資源(ひと・温泉)をいかして新たな価値を創り、儲かる別府に進化する。

(1) 基本的方向

ア 本市の資源・強み

本市の主要産業は、観光業及び医療・福祉産業である。本市は、観光業が盛んで、温泉を中心とした魅力的な観光資源も多く、国内外から多くの旅行者が訪れている。また、本市には、高度かつ専門的な医療機関も含め、医療機関は充実し、福祉関連の施設も多い。

また、市内の大学には国内外から多様な人材が集まっていることや、別府産業連携・協働プラットフォーム「B-biz LINK」(以下「B-biz LINK」という。)による産・学・官などの連携によるイノベーションが創出されやすい環境が整っており、主要産業間や産業横断での産業振興も促進されやすくなっている。

イ 本市の課題・弱み

本市の産業構造は主要産業への集中が著しく、多様で魅力ある産業や企業が限られることから、若者や子育て世代の人口流出につながっている。また、温泉という有力な資源が観光業でいかされているものの、観光業での更なる活用余地、関連産業や官民連携での新たな活用の可能性が残されている。

そのため、主要産業の更なる振興のほか、その周辺産業を中心とした多様な産業の振興などが課題として挙げられる。

ウ 目指す姿

観光業や医療・福祉産業といった主要産業の魅力を更に磨き上げ、その周辺産業とも連携して新しいビジネスや商品を創出し、市民や観光客などに新しい価値を提供して喜んでもらうことで、市民がいきいきと安心して働ける「儲かる別府」を目指す。

エ これまでの取組

第1期の総合戦略にも掲げ、観光業の振興や産・学・官などと連携した別府一丸となった産業振興などに取り組んできたことで、観光客数の増加や学卒後も別府に残って起業する者が増えるなど、一定の成果を挙げている。

オ 基本的方向

観光業や医療・福祉産業といった主要な産業の強みを最大限に活用し、「B-biz LINK」などとの様々な連携を通じて新しいビジネス・商品を創出し、産業振興に深みと広がりを持たせる施策・取組を進める。また、その基盤となる人材の確保や育成にも積極的に取り組む。

カ 数値目標

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
労働人口に占める所得割の納税義務者数の割合	48.08%	49.08%

(2) 具体的な施策、主な取組とKPI

施策ア「ツーリズムバレー構想」の推進



取組① 別府の観光産業に新たな風を吹かせる「起業・創業」の強力な推進

別府の観光産業の更なる活性化を図るため、既存の観光産業の育成とともに、新たな風を吹かせる多様なビジネスが創出されるよう、起業・創業の推進に取り組む。

- ・ 学生、地元企業、都市部企業、起業家などとの交流の機会の創出
- ・ ビジネス化に向けたサポート体制の構築
- ・ 起業・創業を後押しするヒト・モノ・資金・情報・技術の供給などの仕組みの構築

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
起業・創業件数	65 件	75 件
起業・創業相談対応件数	559 件	584 件

取組② 別府に新たなビジネスを作り出す人財、別府の観光産業を担う人財の育成

別府の観光産業を活性化するための原動力となる「人財」を創出するために、あらゆるヒトとの交流の場を創出し、さらに産・学・金・官が連携して観光産業の課題解決や新たなビジネスが創出できる土壌・環境の整備に取り組む。

- ・ 新たなビジネスを創り出すための交流の機会の創出
- ・ 観光産業を担う「人財」を育成する学び・実践の場の創出

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
大学などと連携して実施した講座の受講者数	—	200 人(累計)

取組③ 別府を応援してくれるヒト・企業とのつながりの強化

別府ツーリズムバレー構想の取組を強力に進めるために必要不可欠な別府の応援団 (BEPPU サポーターズ) となるヒト・企業とのネットワークを構築し、市内外から多くのサポートを受けられる仕組みを構築する。

- ・ 別府に関わるヒト・企業とのネットワーク構築
- ・ 別府ツーリズムバレーに関する情報を発信

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
BEPPU サポーターズのメンバー数	—	150 者(累計)

基本目標1 しごとの創生:資源(ひと・温泉)をいかして新たな価値を創り、儲かる別府に進化する。

施策イ 別府市産業連携・協働プラットフォーム「B-biz LINK」と連携した別府の活性化



取組① 「B-biz LINK」との連携

本市の地域の振興に関する諸施策と連携した活動を行い、地域経済の持続的な発展と市民の生活の向上に寄与するために設立された、市内の企業、大学、行政、地域を連携・協働のハブ機能である「B-biz LINK」と連携して事業の推進に取り組む。

- ・ 起業・創業の相談、支援
- ・ 産業を担う人材育成の支援
- ・ 販路開拓支援、新商品・新サービスの開発支援及びビジネスマッチング
- ・ 関係機関との連携強化

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
B-biz LINK が中心となって実施したプロジェクト数	—	5 件

施策ウ 大学などと連携した産業人材の育成・確保



取組① 大学などと連携した本市の産業を担う人材の育成

別府の産業を活性化するための原動力となる人材の育成・確保のために、教育機関と連携して人材の育成に取り組む。

- ・ 産業人材の効果的・効率的な育成スキームの構築(教育機関のカリキュラムへの組み入れなど)
- ・ ツーリズムバレー構想の実現による人材確保・育成
- ・ 旅館ホテル業の人材派遣を行い、人手不足の解消を図る

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
旅館・ホテル業の人材派遣登録者数	—	250人

取組② 大学連携の促進と地域協働の推進

大学の研究機能を活用した具体的な施策・取組の立案、大学と企業の連携によるビジネスや商品などの研究開発の促進などに取り組む。

- ・ 大学と連携した施策立案
- ・ 大学と企業が連携したビジネス・商品の研究開発

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
施策立案において大学と連携したプロジェクト数	—	5件

取組③ 学生の地元就職の促進

市内の高等学校や大学で学ぶ学生の定着を図り、別府の産業人材として確保・育成していただくために、インターンシップの改善や就職マッチングイベントの開催などに取り組む。

- ・ 就職マッチングイベントの開催
- ・ 教育機関、民間企業などと連携した実践的なインターンシップの実施
- ・ 企業のネットワーク化による学生への訴求力の向上

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
市内高等学校卒業生の就職のうち 市内就職率	43%	50%
市内大学(短期大学を含む)卒業生の 就職者のうち市内就職率	8%	12%

取組④ UIJ ターンの促進や外国人労働者の受入などによる市外からの人材確保

市外から UIJ ターンする人材を別府に呼び込むため、子育て世代や市内の高等学校や大学の卒業生へのアプローチ、移住・定住の支援などに取り組む。また、外国人労働者の受入環境の整備など、市内事業者の人材確保の支援に取り組む。

- ・ UIJ ターンの取組強化(別府から転出した子育て世代などへのアプローチ)
- ・ ホームカミングデーなどを活用した大学卒業生へのアプローチ
- ・ 移住・定住支援
- ・ 市内事業者の外国人労働者の受入環境の整備に対する支援

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
移住に関する相談件数	254件	381件

施策Ⅰ いまある資源を活用したイノベーションの推進



取組① 竹産業のイノベーション

新たな竹産業の確立・振興に向けたイノベーションの創出のため、担い手の確保と環境の整備、異業種などと連携し、ブランド力向上に取り組む。また、竹製品をおもてなしのツールとして活用した「竹細工のまち」を演出し、観光客の満足度の向上に取り組む。

- ・ 担い手不足対策と竹工芸家の市内定住促進
- ・ 作業場や作業用機械の充実などの環境整備
- ・ 小中学生、市民、観光客のだれもが竹と触れ合う機会の創出
- ・ 市民の竹製品の利用促進（環境にやさしいマイ竹かごバッグの取組）
- ・ 公共施設や宿泊施設などの竹製品の利用促進
- ・ 竹林の整備による原材料の確保
- ・ 竹林及び竹細工を活用したアクティビティの創出（観光産業との連携）
- ・ 「Beppu Bamboo」ブランドの新製品開発及び積極的な情報発信
- ・ 新たな価値の創出に向けた異業種などとの連携強化
- ・ 竹細工伝統産業会館を起点とした竹製品（竹細工）の認知度向上

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
竹工芸訓練センター修了生の市内就職者数	2人	15人
竹細工新製品の売り上げ(個数)の伸び率	—	50%
竹製品(竹細工)と宿泊施設などとの新規コラボ数	—	10件
別府市竹細工伝統産業会館の入館者数	11,500人	14,400人
適正管理・整備された竹林の面積	0.5ha	2.5ha

取組② 温泉を活用したビジネス展開の検討

温泉資源を新たなビジネスや商品の開発、医療などの他産業にも積極的に活用し、イノベーションを創出することに取り組む。

- ・ 温泉医療の調査研究による湯治の発展型としての実用化

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
温泉を活用した新たなビジネスのモノ・コトの商品化数	4件	16件

取組③ 勤務地・居住地に縛られない企業などの市内におけるビジネス展開の促進

温泉資源や学生（特に留学生）が多いといった本市の特徴の訴求など、IT関連企業などの勤務地に縛られない企業やビジネスパーソンの誘致に取り組む。

- ・ IT関連企業（Webデザインなど）やフリーランスなどの居住地を選ばないビジネスの誘致（コワーキングスペースなどの活用）
- ・ サテライトオフィスの整備による新たな産業・企業の誘致
- ・ 誘致のきっかけづくりとしてフリーランスや企業に対してワーケーションを提案

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
コワーキングスペースの利用企業数	—	50社
誘致企業数	1件	5件

施策才 誰もが活躍できる環境の整備や雇用の促進



取組① 市内企業などの働き方の多様性の確保

働き方の多様性の向上と市内企業の人材確保の両立に向け、多様な働き方の導入支援や啓発活動、ワークライフバランスの向上支援などに取り組む。

- ・ テレワークや時短勤務などの導入支援
- ・ 多様な働き方の醸成に向けた啓発セミナー
- ・ 「ワークライフバランス」の推進

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
働き方改革に関する啓発やセミナーへの参加事業所の働き方に取り組んだ事業所数の割合	—	70%

取組② 仕事と子育ての両立ができる社会の実現

子育て世代がより活躍できるよう、多様な働き方の提案、子育てと仕事を両立できる職場の意識改革を推進し、男女が平等で仕事と生活のバランスが取れた生き方ができる社会の実現のための啓発に取り組む。

- ・ 男性の家事、育児参画について、意識の浸透を図るための啓発の実施
- ・ 女性の社会参加を促進するため、女性の能力向上、就労のための研修の実施
- ・ 企業・団体向けに育児・介護休業法や仕事と生活の調和の必要性についての啓発の実施
- ・ 様々な分野での女性参画の推進の意識啓発の実施

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
女性の参画を推進する啓発講座参加者数	275人	600人

取組③ 障がい者の活躍促進

障がい者がより活躍できる環境の整備として、多様な働き方の提案、障がい者支援団体などとの連携による雇用促進などの支援に取り組む。

- ・ 障がい者支援団体などとの連携による障がい者の雇用促進

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
障がい者の一般就労への移行者数	40人	50人

取組④ 高齢者の活躍促進

高齢者がより活躍できるよう、多様な働き方の提案や企業とのマッチング、健康で安心して働ける環境整備などの支援に取り組む。

- ・ 高齢者が安心して働ける環境づくり（シルバー人材センターなどとの連携）
- ・ 高齢者が活躍できるマッチングの促進（医療・福祉産業などとの連携）

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
マッチングイベントの参加者数中の就業者数	4人	25人(累計)

施策力 農林水産業の活性化



取組① 農林水産業の活性化

農林水産業の基盤整備を行うとともに、新規就業者などの担い手の育成・確保や経営環境の保全を図り、持続かつ発展可能な産業化に取り組む。

- ・ 農地や農道・水路などの農業施設などの基盤整備
- ・ 法人や担い手となる経営体、認定農業者・新規就業者の確保・育成
- ・ 集落協定（地域活動組織）による農地保全活動の推進
- ・ IoT 技術を活用した有害鳥獣の被害の防止
- ・ 狩猟者確保・育成
- ・ 森林環境譲与税を活用した森林整備
- ・ 漁場の保全及び栽培漁業の推進
- ・ 多様な担い手の確保・育成（大学生・ボランティアなど）

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
農林水産業の担い手確保数	36 人	41 人

取組② 農林水産物の特産品化及び地産地消の推進

市内の農林水産物を活用し、関係団体などと協働・連携して地産地消、6次産業化の推進を図り、新しい特産品化に取り組む。

- ・ 別府産農林水産物を利用した農林水産物加工品の開発及び販売の促進
- ・ 直売所などを活用した地元産品の消費拡大
- ・ 地域の特色を生かした農産物栽培の推進
- ・ 別府産農林水産物などのブランド化
- ・ 他産業との連携（商業・観光業・福祉などと連携した農産物の販売）

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
農林水産物の特産品化数	5 件	8 件

2 しごとの創生

多様性と受容性をいかして、別府に新しいひとの流れをつくり、受け入れる。

(1) 基本的方向

ア 本市の資源・強み

本市には、世界屈指の温泉を軸とした魅力あふれる観光資源が存在し、海や山などの美しい景観、豊かな食などがあり、多くの観光客をひきつけている。また、医療・介護サービス業が主要産業となっており、高齢者や障がい者などが安心して暮らせる環境も整っている。

更に、本市の資源・強みとしては、新しいものを受け入れる市民の気質も挙げられる。外国人観光客や大学の留学生なども多く、ひとの多様性に富み、それを快く受け入れる市民の受容性がある。

イ 本市の課題・弱み

本市の課題としては、公共交通の更なる充実が挙げられる。本市の中心部は扇状地であるため坂道が多く、日常生活や観光における移動手段の確保のため、別府駅などを起点としたバスやタクシーといった公共交通の充実が必要である。

また、多様な世代のそれぞれにとって魅力のある就業先の創出も本市の重要な課題の一つである。若者や子育て世代が本市に留まりたいと思うような魅力のある企業の誘致や、高齢者などが生涯活躍できるための働き口の確保が必要である。

ウ 目指す姿

温泉を中心とした観光業の魅力を磨くとともに、医療・福祉産業をいかした健康効果の訴求などの周辺産業との連携をいかし、別府に来れば健康で幸福な時間を過ごせるというまちを目指す。

エ これまでの取組

「湯～園地」⁴や「別府 ONSEN アカデミア」⁵など、温泉を軸とした国内外でも有名なイベントなどを行い、新しいひとの流れの創出に取り組んできた。また、「空き家バンク」などの移住・定住を促進するための施策・取組も、第1期の総合戦略の一環として取り組み、一定の成果を挙げている。

オ 基本的方向

観光業や医療・福祉産業といった主要な産業の特性をいかして新しいひとの流れを作るとともに、二次交通や多様な就業先の確保といった暮らしに必要な環境の更なる整備を推進し、交流人口、関係人口、定住人口の増加に向け、それぞれの段階に応じた施策・取組を進める。

カ 数値目標

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
観光客消費額	86,555 百万円	95,211 百万円
総観光客数	9,043 千人	9,947 千人
宿泊者数	2,523 千人	2,775 千人

⁴ 別府ラクテンチで開催した温泉を活用したイベント。平成29年にクラウドファンディング（不特定多数の人がインターネットを経由して行う財源支援）などで支援を募り、「べっふ火の海まつり」に併せ、平成29年7月29日～8月1日まで開催し、3日間で約1万4千人が来園した。

⁵ 温泉の様々な魅力を検証し、大切な資源である温泉を守りながら、国内の多くの温泉地とともに新たな温泉の可能性を全国、そして世界に向けて発信する温泉のシンポジウム。

(2) 具体的な施策、主な取組とKPI

施策ア 世界一の温泉観光都市への挑戦(新たな観光資源の開発と進化)



取組① 温泉を活用したスパリゾートの開発

「東洋のブルーラグーン（仮称）」などの温泉スパリゾートを民間資本の活用などにより新たに整備し、市有地を有効活用するとともに、本市の新しい強力な観光資源として、観光客の更なる増加に取り組む。

- ・ 民間資本による事業整備手法、市有地の有効活用の検討
- ・ 別府の温泉を使った総合的なスパリゾート施設の整備
- ・ 別府らしさとインパクトを与えることのできる浴槽規模の確保
- ・ 温泉資源に配慮した湯量の確保
- ・ アクティビティの充実

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
屋外温浴施設数	—	1 件

取組② 別府の観光温泉文化の歴史を踏まえた持続可能な集客力ある温泉観光都市づくりの推進

集客力のあるイベント、近隣観光地との連携、景観の向上、アフタービジネスの観光など、温泉観光都市としての魅力向上や情報発信に取り組む。

- ・ 「ユニバーサルツーリズム」「観光DX」「免疫力日本一宣言の実現」「食×観光」を4本柱とした新しい別府観光推進のための体制構築及び基盤の整備
- ・ 別府駅及び鉄輪・地獄めぐり周辺エリアを始めとする既存の観光コンテンツの磨き上げや新たな観光コンテンツの創出
- ・ 既存の商店街との連携や物販でのチャレンジショップの起業支援
- ・ 市内の温泉地毎及び市内の温泉地横断での集客力のあるイベントの創出
- ・ 観光客の市内滞在時間の伸長など、観光消費額を増加するための仕組みづくり
- ・ レジャー施設などの近隣の観光資源と連携した総合的な魅力づくり
- ・ 歴史的建造物の保護及び保護に係る支援
- ・ 市街地を中心とした観光客のおもてなしを行う機能の整備
- ・ ワークেশョンの推進
- ・ ワークেশョンなど新しい働き方による交流人口の増加

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
宿泊者数	2,523 千人	2,775 千人

取組③ ユニバーサルツーリズムの先進地に向けた整備

ユニバーサルツーリズムの世界的な先進地を目指し、ハード面及びソフト面の整備に取り組む。

- ・ 高齢者や障がい者が安心して旅行ができる体制の整備
- ・ 宿泊施設、観光施設、温泉施設などのバリアフリー化の推進
- ・ 国や県の取組も含めた、関連施設や道路の整備事業などと併せた段階的なハード面の整備
- ・ 民間事業者との連携による介助サービスの提供などのソフト面の整備

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕

基本目標2 しごとの創生：多様性と受容性をいかにして、別府に新しいひとの流れをつくり、受け入れる。

観光に関するバリアフリーマップの登録件数	289 件	400 件
----------------------	-------	-------

取組④ 外国人観光客増加に向けた受入環境の整備

外国人観光客の増加に向け、これまで実施してきた受入環境の拡充に加え、新たな技術やサービスの導入による更なる利便性の向上に取り組む。

- ・ Wi-Fi や案内窓口機能などの対応可能なサービスやエリアの更なる拡充
- ・ 飲食店の内観や雰囲気などが分かるような、より詳しい情報提供の支援
- ・ 宿泊施設などと連携した災害発生時の外国人対応の強化
- ・ 新しい ICT 技術やサービスの情報収集と積極的な導入検討（5G の実証実験の受入や先進的な導入・活用など）

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
観光案内所(WANDER COMPASS BEPPU)の外国人来訪者数	—	16,500 人

取組⑤ 地域公共交通の利便性向上

日常生活や観光における移動手段の確保のため、交通事業者との連携を通じて、バスやタクシーの更なる活用の促進策に取り組む。

- ・ 交通事業者（バス、タクシーなど）との連携を通じた持続可能なサービスの維持・向上
- ・ 交通不便地域の解消に向けた取組
- ・ 高齢者、障がい者などに対する日常生活に必要な移動の支援
- ・ 先進的な技術や ICT を活用した効率的な公共交通の実現
- ・ 「バスどこ大分」などの既存の取組の情報発信

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
人口一人当たりの年間公共交通（鉄道・バス）利用回数	84.2 回	88.0 回

取組⑥ 観光客に対するおもてなし体制の整備・強化

宿泊事業者や観光事業者に対する教育や外国語対応といった基本的なおもてなしの強化、MICE⁶や大規模イベントに係る来訪者に対するニーズに応じたおもてなしの推進などに取り組む。

- ・ 宿泊業や観光業の企業などを対象とした、おもてなし教育の提供
- ・ 外国人観光客向けの外国語への対応力の強化の支援
- ・ オリンピック・パラリンピックに係るキャンプや訪日外国人の誘致
- ・ 宇宙技術および科学の国際シンポジウム（ISTS）⁷の開催

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
おもてなし規格認証 ⁸ の認証取得件数	—	20 件

⁶ 企業などの会議（Meeting）、企業などの行う報奨・研修旅行（インセンティブ旅行）（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会などが行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称。

⁷ 世界の宇宙工学などの研究者などが一堂に会して研究発表や討論を行う場を提供し、宇宙技術及び科学の進歩発展ならびに宇宙開発・利用の推進に寄与すること、相互間の交流を図ることを目的とした国際会議。

⁸ サービスを提供する全ての事業者にとって、高品質なサービスの提供・維持・向上を促し、より高い生産性を実現するための、共通化された枠組みとして、サービス品質を「見える化」するための規格認証制度。

基本目標2 しごとの創生：多様性と受容性をいかにして、別府に新しいひとの流れをつくり、受け入れる。

取組⑦ 竹産業のイノベーション〔再掲：1(エ)①〕

新たな竹産業の確立・振興に向けたイノベーションの創出のため、担い手の確保と環境の整備、異業種などと連携し、ブランド力向上に取り組む。また、竹製品をおもてなしのツールとして活用した「竹細工のまち」を演出し、観光客の満足度の向上に取り組む。

- ・ 担い手不足対策と竹工芸家の市内定住促進
- ・ 作業場や作業用機械の充実などの環境整備
- ・ 小中学生、市民、観光客のだれもが竹と触れ合う機会の創出
- ・ 市民の竹製品の利用促進（環境にやさしいマイ竹かごバッグの取組）
- ・ 公共施設や宿泊施設などの竹製品の利用促進
- ・ 竹林の整備による原材料の確保
- ・ 竹林及び竹細工を活用したアクティビティの創出（観光産業との連携）
- ・ 「Beppu Bamboo」ブランドの新製品開発及び積極的な情報発信
- ・ 新たな価値の創出に向けた異業種などとの連携強化
- ・ 竹細工伝統産業会館を起点とした竹製品（竹細工）の認知度向上

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
竹工芸訓練センター修了生の 市内就職者数	2人	15人
竹細工新製品の売り上げ(個数)の伸び率	—	50%
竹製品(竹細工)と宿泊施設などとの 新規コラボ数	—	10件
別府市竹細工伝統産業会館の入館者数	11,500人	14,400人
適正管理・整備された竹林の面積	0.5ha	2.5ha

施策イ 観光筋力強化に向けた更なる取組



取組① 別府版 DMO 機能の強化

別府版 DMO 機能として、「B-biz LINK」との更なる連携に取り組み、観光商品の開発、マーケティング、ブランディングなどの観光振興策に戦略的に取り組む。

- ・ DMO 機能の推進強化に向けた資源投資
- ・ コト消費の観光コンテンツや広域連携による周遊ルートなどの商品開発
- ・ 観光業における最新動向の把握と本市に合う形でのスピーディーな展開

KPI	現状値[H30]	目標値[R6]
別府版 DMO 開発商品などの売上額	1,000 千円	160,000 千円

取組② 観光戦略のデジタルファースト

デジタルの力を活用し、マーケティング・広報の改革・強化を図り、別府の稼ぐ力の増強に取り組む。

- ・ デジタルマーケティング体制の強化
- ・ 広報の改革
- ・ 「稼ぐ」仕組みの強化
- ・ Society5.0 時代にふさわしい組織・人材・予算の強化

KPI	現状値[H30]	目標値[R6]
デジタルマーケティング対象国からの入込客数	2,498 人	5,000 人

施策ウ 別府ブランドの構築と飛躍によるひとの流れの拡大促進



取組① 多様なシティプロモーション⁹の強化

ブランドイメージの確立と情報発信を推進し、多様なシティプロモーションの強化に取り組む。

- ・ SNS 運営事業者などとの連携
- ・ 多言語対応や必要な情報の的確な提供などのホームページの改善
- ・ 多様な媒体を活用したプロモーションの実施
- ・ 文化観光やアーティスト・クリエイターの情報発信拠点を整備

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
新規プロモーション事業数	—	10 件

取組② 海外プロモーションの強化による別府の魅力の世界への情報発信

外国人観光客の誘客に向け、海外向けのプロモーションや別府の魅力の世界への情報発信などに戦略的に取り組む。

- ・ 世界の主要都市におけるイベントの開催や現地旅行代理店への営業
- ・ 海外のギャラリーと連携した、世界のギャラリー・コレクターへの情報発信と販路の拡大
- ・ 海外の関係団体との連携による情報発信

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
外国人向けホームページの閲覧数	16,588 回	200,000 回

⁹ 地方自治体が行う「宣伝・広報・営業活動」のこと。地域のイメージ向上やブランドの確立を目指し、地元経済の活性化などを目的とした取組。

施策エ ひとを呼ぶ新しい魅力の創出



取組① 市民・学生大同窓会の開催

市内の大学を卒業したOB・OGを中心に、本市と関わりのある人を対象として、市内の学生が主体となって市民と共同で年に1度の市民・学生大同窓会を開催し、本市とのつながりの維持に取り組む。

- ・ 本市に興味や関わりのある世界中のヒトと企業が、本市とのつながりを感じてもらう機会の創出

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
市内大学のOB・OGの参加者数	—	500人(累計)
市民・学生大同窓会に参加した企業数	84社	164社

取組② ユニバーサルデザインに関連したイベントの推進

ユニバーサルデザインへの先進的な取組を一つのきっかけとして、多様なイベントの誘致や創設に取り組む。

- ・ 子どもたちがユニバーサルデザインの必要性について学び、パラスポーツを体験するプログラムの創設
- ・ 高齢者や障がい者が参加しやすいユニバーサルデザインをいかしたイベントの誘致や創設（パラリンピック選手向けの大会や障がい者向けのスポーツイベントなど）

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
ユニバーサルデザイン関連の学習、イベントの参加者数	—	4,200人(累計)

取組③ 温泉を活用したビジネス展開の検討〔再掲:1(エ)②〕

温泉資源を新たなビジネスや商品の開発、医療などの他産業にも積極的に活用し、イノベーションを創出することに取り組む。

- ・ 温泉医療の調査研究による湯治の発展型としての実用化

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
温泉を活用した新たなビジネスのモノ・コトの商品化数	4件	16件

取組④ 民間活力の導入を含む公園や海岸などの有効活用

新たなひとの流れの創出を目指し、景観や環境に優れた本市の公園や海岸を更に活用し、スポーツ大会やイベントなどの誘致や主催に取り組む。

- ・ 公園、海岸、廃校などを活用したスポーツ大会やイベントなどの誘致や開催
- ・ 民間活力を活用した機能の拡充や新たな機能の付加（パーク PFI 事業の活用）
- ・ 日の出、夕焼け、夜景、海岸などの別府の魅力ある自然の景観とそのベストスポットやシーズン別の見所などの情報の取りまとめと情報発信（市民や観光客が発信するものも含む）

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
公園などの民間活力を導入した場合（施設設置・指定管理など）の利用者数	—	200,000人

基本目標2 しごとの創生:多様性と受容性をいかして、別府に新しいひとの流れをつくり、受け入れる。

取組⑤ 様々なスポーツイベントの開催推進

本市の多様な自然環境をいかし、「別府」を冠するなどの多様なスポーツイベントの誘致、創設、主催、温泉をいかしたメリットの訴求や継続的なイベントとしての位置づけなどに取り組む。

- ・ 「別府」を冠するなどの多様なスポーツイベントの実施
- ・ スポーツ後の疲れを温泉で癒すことのセットでのPR
- ・ 有効活用・活性化に向けた規制緩和やルール形成の検討

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
スポーツツーリズム施策などによる誘客数	8,523 人	11,000 人

施策オ「ツーリズムバレー構想」の推進



取組① 別府の観光産業に新たな風を吹かせる「起業・創業」の強力な推進 〔再掲：1(ア)①〕

別府の観光産業の更なる活性化を図るため、既存の観光産業の育成とともに、新たな風を吹かせる多様なビジネスが創出されるよう、起業・創業の推進に取り組む。

- ・ 学生、地元企業、都市部起業、起業家などとの交流の機会の創出
- ・ ビジネス化に向けたサポート体制の構築
- ・ 起業・創業を後押しするヒト・モノ・資金・情報・技術の供給などの仕組みの構築

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
起業・創業件数	65 件	75 件
起業・創業相談対応件数	559 件	584 件

取組② 別府に新たなビジネスを作り出す人財、別府の観光産業を担う人財の育成 〔再掲：1(ア)②〕

別府の観光産業を活性化するための原動力となる「人財」を創出するために、あらゆるヒトとの交流の場を創出し、さらに産・学・金・官が連携して観光産業の課題解決や新たなビジネスが創出できる土壌・環境の整備に取り組む。

- ・ 新たなビジネスを創り出すための交流の機会の創出
- ・ 観光産業を担う「人財」を育成する学び・実践の場の創出

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
大学などと連携して実施した講座の受講者数	—	200 人(累計)

取組③ 別府を応援してくれるヒト・企業とのつながりの強化 〔再掲：1(ア)③〕

別府ツーリズムバレー構想の取組を強力に進めるために必要不可欠な別府の応援団（BEPPU サポーターズ）となるヒト・企業とのネットワークを構築し、市内外から多くのサポートを受けられる仕組みを構築する。

- ・ 別府に関わるヒト・企業とのネットワーク構築
- ・ 別府ツーリズムバレーに関する情報を発信

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
BEPPU サポーターズのメンバー数	—	150 者(累計)

施策力 交流人口の定住人口への転換



取組① ふるさと納税を入り口にした関係人口の増加

湯のまち別府ふるさと応援寄附金により、別府の認知度・好感度を向上させるとともに、返礼品として別府とのつながりをより強くもってもらい、別府への訪問の機会を創出する仕掛けに取り組む。

- ・ ふるさと納税のPR
- ・ ふるさと納税の返礼品などの見直し（「別府に来る」「別府でのイベントに参加する」「別府での生活を体験する」などの別府に来てもらうための仕掛け）
- ・ 企業版ふるさと納税の活用による関係人口の創出

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
ふるさと納税の寄附件数	3,920 件	11,944 件

取組② 移住の促進及び定着に向けた積極的な取組

移住や定住の促進に向け、別府への移住や定住に関する支援策などを整備し、その魅力とともに情報発信に取り組む。

- ・ 職業・年齢・国籍などに応じた多様なニーズと多様な解決策の情報収集
- ・ 空き家の活用やマッチングなどの物件情報の集約・情報発信
- ・ 移住者の相談対応や受入支援の充実（おためし移住施設の活用など）
- ・ 移住や定住に向けた支援の在り方の検討
- ・ 高齢者・障がい者向けのバリアフリー化された住宅の供給支援
- ・ サテライトオフィス整備の促進（企業誘致に伴う従業員の移住促進）
- ・ ワークেশョンの受け入れ可能施設やプランなどの情報発信
- ・ アーティスト・クリエイター向けのリノベーション施設整備の促進

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
お試し移住施設利用者のうち 移住した者の数	4 人	8 人 (累計 40 人)
移住に関する相談件数	254 件	381 件

取組③ 高齢者の活躍促進〔再掲:1(オ)④〕

高齢者がより活躍できるよう、多様な働き方の提案や企業とのマッチング、健康で安心して働ける環境整備などの支援に取り組む。

- ・ 高齢者が安心して働ける環境づくり（シルバー人材センターなどとの連携）
- ・ 高齢者が活躍できるマッチングの促進（医療・福祉産業などとの連携）

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
マッチングイベントの参加者数中の 就業者数	4 人	25 人(累計)

3 ひとの創生

ひとを大切に、別府で子どもを産み、育て、生きる。

(1) 基本的方向

ア 本市の資源・強み

本市は、保育所や放課後児童クラブの定員増加、子育て支援拠点などの子どもの居場所の増設などに取り組み、働きながらでも子育てをしやすい環境をハード面・ソフト面ともに整備している。

また、市内には複数の大学があること、留学生が多く市民との交流機会も多いことから、生活や教育の中に、人間性、社会性、国際性、多様性の理解を育む環境が整っている。

イ 本市の課題・弱み

本市では、女性の就業率が増加傾向にあり、特に20代後半から40代前半にかけての女性の労働力率が高く、女性の社会進出や就労形態の多様化に伴い、育児と仕事の両立を支援し、子育て家庭の多様なニーズに対応できるよう子育て支援サービスの充実が求められている。

ウ 目指す姿

子育てしやすい環境や本市の特長である国際性などをいかした教育環境をより充実させ、子育て世代に選ばれるまちを目指す。また、出会い、結婚、出産の機会も創出する。

エ これまでの取組

出会いの場の創出、結婚・出産・子育てがしやすい環境の整備、子どもの健康増進、学力の育成、留学生との交流機会の創出など、第1期の総合戦略にも多くの施策・取組を掲げ、成果を挙げている。

オ 基本的方向

これまでの施策・取組を更に充実させていく。より一層、結婚、出産、子育てがしやすくなるよう、支援内容の細かさやワンストップでの対応、利用機会の拡充などに、地域の力も活用しながら推進する。

教育においても、学校・家庭・地域が協働し、郷土への誇りと夢を併せ持つ豊かな人間性や社会性を備えた人材育成に取り組むとともに、国際性や多様性も理解できる未来の別府市民の育成を推進する。

カ 数値目標

KPI	現状値[H30]	目標値[R6]
合計特殊出生率	1.40	1.42

2040年合計特殊出生率の数値目標 1.55

(2) 具体的な施策、主な取組と KPI

施策ア 時代とまちに即した子育て支援の充実



取組① 安心して子どもを預けられる環境整備

子育て世帯が安心して働けるようにするため、保育ニーズに対応した保育サービスの提供に取り組む。

- ・ 通常保育、延長保育、休日保育、病児保育、障がい児保育の充実
- ・ 預かり保育の充実
- ・ 放課後児童クラブの充実

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
保育利用決定率(10月1日時点)	94.3%	98.0%

取組② 子育て世帯の経済的負担の軽減

子育て世帯の経済的負担を軽減できるよう、子育て情報の分かりやすい周知やサービスの利用促進に取り組む。

- ・ 各種手当などに関する情報の分かりやすい周知
- ・ 幼児教育・保育無償化の周知による利用促進
- ・ 大分にこにこ保育支援事業による保育料軽減の実施
- ・ 放課後児童クラブ保護者負担金軽減事業の実施
- ・ 子ども医療の拡充
- ・ 子育てほっとクーポンの拡充
- ・ 上記の情報関連支援の民間企業との連携 (LINE などの活用)

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
「おおいた子育てほっとクーポン」利用率	57.5%	70.0%

取組③ 妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援

妊娠、出産、子育ての不安や悩みを軽減・解消するため、切れ目ない総合的な相談対応を行うワンストップ拠点の整備や関連団体と連携した支援体制の拡充に取り組む。

- ・ 悩みなどを受け付ける体制の整備
- ・ 関連団体とのネットワークを活用した解決に向けた相談対応
- ・ 子ども家庭総合支援拠点運営事業の推進

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
赤ちゃん訪問の実施率 (当該年度中の訪問実施数/当該年度中の出生数)	96.2% (平成 28~30 年度の平均値)	100%

基本目標3 ひとの創生:ひとを大切に、別府で子どもを産み、育て、生きる。

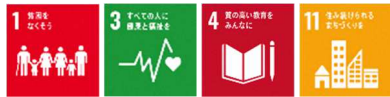
取組④ 仕事と子育ての両立ができる社会の実現〔再掲:1(オ)②〕

子育て世代がより活躍できるよう、多様な働き方の提案、子育てと仕事を両立できる職場の意識改革を推進し、男女が平等で仕事と生活のバランスが取れた生き方ができる社会の実現のための啓発に取り組む。

- ・ 男性の家事、育児参画について、意識の浸透を図るための啓発の実施
- ・ 女性の社会参加を促進するため、女性の能力向上、就労のための研修の実施
- ・ 企業・団体向けに育児・介護休業法や仕事と生活の調和の必要性についての啓発の実施
- ・ 様々な分野での女性参画の推進の意識啓発の実施

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
女性の参画を推進する啓発講座参加者数	275 人	600 人

施策イ 全ての子どもを育む環境の充実



取組① 子どもの安全安心の確保

全ての子どもの安全安心を確保するため、いじめや虐待、貧困への対策、見守り活動や注意喚起の情報発信、防犯教育の実施などに取り組む。

- ・ いじめの防止、早期発見、対処
- ・ 児童虐待対策
- ・ 子どもの貧困対策
- ・ 登下校時の見守り活動（ボランティアの活用など）
- ・ インターネットの利用に関する注意喚起
- ・ 防犯教育の実施

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
地域の見守りによる、放課後などの子どもへの声かけ人数	1,108 人	1,500 人
インターネット使用上の家族との約束設定率	小学生 77.6% 中学生 62.3%	小学生 90.0% 中学生 80.0%

取組② 子どもの健康促進

子どもの健康増進に向け、むし歯や肥満の予防に対する支援、夜間や休日でも子どもが診療を受けやすい環境の整備などに取り組む。

- ・ 子どもへのフッ素塗布・フッ化物洗口の実施
- ・ 子どもの生活習慣病の予防の推進
- ・ 家庭の看護力の向上に向けた啓発

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
3歳児のむし歯保有率	15.7%	14.4%
小5 肥満傾向児童の割合	12.8%	10.0%
中2 肥満傾向生徒の割合	11.4%	9.0%

取組③ 地域の子育て力の強化

別府市ファミリー・サポート・センター（子育てのサポートをお願いしたい会員と応援したい会員をマッチングする仕組み）の更なる利用促進や子育てを担える地域の人材の発掘や活用など、地域が持つ子育て力の強化に取り組む。

- ・ 別府市ファミリー・サポート・センターの利用促進
- ・ 子どもに勉強や習い事を提供できる人材の活用
- ・ 子育て支援センターや児童館などの整備・活用
- ・ 地区公民館などでの教室、体験活動などの実施

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
別府市ファミリー・サポート・センター登録者数（「まかせて会員」数）	188 人	208 人
「まかせて会員」の活動件数	337 件	372 件
地区公民館などでの教室、体験活動などのボランティア数	10,305 人	11,000 人

基本目標3 ひとの創生:ひとを大切に、別府で子どもを産み、育て、生きる。

取組④ 子どもの居場所の確保

小学生が放課後などに健やかに時間を過ごせる居場所として、児童館などの活用のほか、地域で子どもを育むための高齢者などの人材の活用に取り組む。

- ・ 児童館の活用
- ・ 高齢者などを活用した子どもの過ごせる場の設置及び運営
- ・ 放課後学習ひろばの実施

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
児童館施設利用者数	46,667 人	47,000 人
放課後学習ひろばを利用する子どもの数	1,936 人	2,200 人
地区公民館などでの教育、体験活動などの子どもの参加者数	3,053 人	3,500 人

取組⑤ 安全でおいしい学校給食の提供

小中学校及び幼稚園に安全安心で日本一おいしい学校給食を安定的に提供できる環境を整える。

- ・ 新学校給食共同調理場の整備
- ・ 安全でおいしい学校給食の推進
- ・ 新たなメニューの開発
- ・ 試食会や調理実習の実施

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
学校給食生徒(中学校)1人当たりの1日の残菜量	40g	20g
学校給食児童(小学校)1人当たりの1日の残菜量	20g	

取組⑥ 教育環境の整備

児童及び生徒が快適に学校生活を送れる環境を整備する。また、教職員の負担軽減を図る。

- ・ 部活動指導員活用事業の推進
- ・ 学校教育における ICT の活用の推進
- ・ 新学校給食共同調理場の整備

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
部活動指導員数	5 人	18 人
学習者用コンピューター整備率	7%	100%
ICTを活用した授業を週1回以上行っている学校の割合 (全国学力・学習状況調査質問紙)	84% (R1)	100%

施策ウ 別府の未来をつくる人材の育成



取組① 国際人材の育成強化

海外からの観光客や留学生が多い本市の特長をいかし、世界から多様な人材に別府を訪れてもらう機会を設け、市民との接点を創出し、未来を担う国際感覚が豊かな人材の育成に取り組む。

- ・ 国際理解教室の内容の充実
- ・ 留学生などと連携した子どもの国際感覚（語学力など）の育成

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
国際理解教室の参加者数	1,303 人	1,400 人
外国の人と友達になつたりなりたい、外国のことについてもっと知りたいと思う児童生徒の割合	64.7% (R1)	70%以上

取組② 郷土に関する学習「別府学」の実施

児童生徒の郷土への愛着と誇りを培うために、別府市の自然、歴史、文化などを学ぶ「別府学」を実施する。

- ・ 「別府学」学習資料の編集と活用
- ・ 「別府学」を位置付けた教育課程の作成と実施

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
郷土別府に対して誇りや愛着を持っている生徒の割合	—	70%以上

取組③ 子どもの教育の質の更なる向上

別府の未来をつくる人材の育成の礎として、学校教育における質の向上に取り組む。

- ・ 学力向上プランに基づいた組織的な取組の推進
- ・ 別府市学力調査の実施
- ・ 学校運営協議会（学力向上会議）による学力向上に向けた取組の評価・改善
- ・ 体力・運動能力の向上に向けた組織的な取組の推進

KPI	現状値〔R1〕	目標値〔R6〕
全国学力・学習調査における平均正答率が全国平均以上の教科数	3 教科(全国平均正答率以上の教科) 小学校 1/2 教科 中学校 2/3 教科	全教科 全国平均 正答率以上
全国体力・運動能力調査における総合評価 C 以上の児童生徒の割合	小 5 男子 76.9% 小 5 女子 80.9% 中 2 男子 72.5% 中 2 女子 84.6%	小 5 男子 82.0% 小 5 女子 86.0% 中 2 男子 78.0% 中 2 女子 90.0%

基本目標3 ひとの創生:ひとを大切に、別府で子どもを産み、育て、生きる。

取組④ 大学などと連携した本市の産業を担う人材の育成〔再掲:1(ウ)①〕

別府の産業を活性化するための原動力となる人材の育成・確保のために、教育機関と連携して人材の育成に取り組む。

- ・ 産業人材の効果的・効率的な育成スキームの構築(教育機関のカリキュラムへの組み入れなど)
- ・ ツーリズムバレー構想の実現による人材確保・育成
- ・ 旅館ホテル業の人材派遣を行い、人手不足の解消を図る

KPI	現状値[H30]	目標値[R6]
旅館・ホテル業の人材派遣登録者数	—	250人

基本目標3 ひとの創生:ひとを大切に、別府で子どもを産み、育て、生きる。

施策エ 男女が出会える環境整備

取組① 男女が出会える機会の創出

結婚の希望を叶えるために、市内の男女同士、市内の男女と市外の男女が出会う機会を創出するイベントの創設・開催などに取り組む。

- ・ 出会いの機会が生まれるイベントの開催
- ・ 婚活サポート事業の有効活用

KPI	現状値[H30]	目標値[R6]
男女が出会う機会を創出するイベント参加者数	144 人	200 人

4 まちの創生

ひととまちをまもり、地域と地域が連携する。

(1) 基本的方向

ア 本市の資源・強み

本市は、温泉や公園、海と山の両方の豊かな自然を有し、近隣の市町村には水族館などのレジャー施設も充実しており、「別府アルゲリッチ音楽祭」¹⁰や「in Beppu」、「ベップ・アート・マンス」、「湯～園地」などの魅力的なイベントのPRや開催にも積極的に取り組んでいる。更には、生活や観光の基盤となる道路や地域交通の充実にも順次取り組んでおり、市民及び近隣住民や観光客がゆっくりと質の良い余暇を過ごすことが出来る環境が整っている。

また、自主防災組織による防災訓練の実施など、地域コミュニティと連携した取組も進み、市民や観光客などの滞在者が安全安心に過ごせるまちづくりも推進している。

イ 本市の課題・弱み

本市の課題としては、地域交通の更なる拡充が挙げられる。本市の中心部は扇状地であるため坂道が多く、誰もが快適に生活や観光をする上で、二次交通の利便性向上や道路のバリアフリー化の推進などが必要である。

また、にぎわいの場や地域の更なる拡大、商業施設や地域コミュニティの更なる活性化など、地域と協働で、別府に居る人がいきいきと安全安心に過ごせるまちづくりに一層邁進していくことが必要である。

ウ 目指す姿

中規模多機能自治¹¹を推進し、市民と行政が相互に協力・連携する協働のまちづくりに取り組み、誰もがいきいきと安全安心に過ごせるまちづくりを目指す。

エ これまでの取組

鉄輪地区の温泉街としての趣ある景観整備や、「湯～園地」などの魅力と話題性のあるイベントの創出とそれをいかした別府のPRなど、地域と連携したにぎわい創出に取り組んでいる。また、防災や見守りなどにおいて、中規模多機能自治を推進し、地域の多様化・複雑化する課題の解決に、地域と協働して取り組んでいる。

なお、「おくやみコーナー」¹²の設置による手続きの簡素化・待ち時間の短縮などの行政サービスの利便性向上、人材育成による業務品質・効率の向上にも取り組んでいる。

オ 基本的方向

交通インフラの拡充、伝統・文化・新たなにぎわいの更なる創出、地域と連携した防災の推進など、ひとや地域がいきいきと活躍できるまちづくりに向け、地域と協働して施策・取組を進める。

カ 数値目標

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
社会増減	52人減	40人増

¹⁰ピアニストのマルタ・アルゲリッチが総監督を務め、公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団の企画・運営のもと、毎年開催されている音楽祭。

¹¹本市の場合、地域包括支援センターの7つの担当区域に合わせ、中規模ながらも、様々な機能を有する、住民自治の仕組みの構築を目指している。

¹²平成28年より、本市に設置された「死亡」に特化した窓口。故人に応じた関係課の選別、届出書の一括作成補助を行い、遺族の煩雑な死亡手続きの負担の軽減を図っている。

(2) 具体的な施策、主な取組とKPI

施策ア 生活の質の向上実現に向けた整備



取組① 地域公共交通の利便性向上〔再掲:2(ア)⑤〕

日常生活や観光における移動手段の確保のため、交通事業者との連携を通じて、バスやタクシーの更なる活用の促進策に取り組む。

- ・ 交通事業者（バス、タクシーなど）との連携を通じた持続可能なサービスの維持・向上
- ・ 交通不便地域の解消に向けた取組
- ・ 高齢者、障がい者などに対する日常生活に必要な移動の支援
- ・ 先進的な技術や ICT を活用した効率的な公共交通の実現
- ・ 「バスどこ大分」などの既存の取組の情報発信

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
人口一人当たりの年間公共交通（鉄道・バス）利用回数	84.2 回	88.0 回

取組② 誰にもやさしい道づくりの促進

全ての人にとってやさしい道づくりとして、歩道や道路の改良や整備を促進するとともに、道路に不具合があった場合に市民などからすぐに通報が来るシステムの活用などに取り組む。

- ・ 歩道の段差解消
- ・ 道路舗装の改善
- ・ 道に関する SNS を活用した通報システムの活用

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
全要望件数に対する ICT を活用した投稿での解決率	1.6%	10.0%

取組③ 民間活力の導入を含む公園や海岸などの有効活用〔再掲:2(エ)④〕

新たなひとの流れの創出を目指し、景観や環境に優れた本市の公園や海岸を更に活用し、スポーツ大会やイベントなどの誘致や主催に取り組む。

- ・ 公園、海岸、廃校などを活用したスポーツ大会やイベントなどの誘致や開催
- ・ 民間活力を活用した機能の拡充や新たな機能の付加（パーク PFI 事業の活用）
- ・ 日の出、夕焼け、夜景、海岸などの別府の魅力ある自然の景観とそのベストスポットやシーズン別の見所などの情報の取りまとめと情報発信（市民や観光客が発信するものも含む）

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
公園などの民間活力を導入した場合（施設設置・指定管理など）の利用者数	—	200,000 人

基本目標4 まちの創生:ひととまちをまもり、地域と地域が連携する。

取組④ 遊休公有財産(土地・建物など)の有効活用

本市が保有する土地・建物などの遊休公有財産について、産業振興などの多目的での有効活用に取り組む。

- ・ 遊休公有財産の有効活用（産業振興など）
- ・ 遊休公有財産の公売・市民などによる再利用の促進
- ・ 市役所庁舎中庭の有効活用

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
公有財産の有効活用件数	25 件	46 件(累計)

取組⑤ 市街地を中心としたにぎわいの創出

市街地を中心としたにぎわいを創出するため、空き店舗・空きフロアの有効活用とそのためのマッチングの仲介などに取り組む。

- ・ 空き店舗、空きフロア、空き時間の有効活用
- ・ 事業承継や店舗所有者と利用希望者とのマッチング

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
空き店舗などのマッチング件数	—	25 件(累計)

施策イ 世界一のユニバーサルデザイン都市への挑戦



取組① 誰にもやさしい施設整備の促進

高齢者や障がい者がまちに出たくなるよう、施設やトイレなどのバリアフリー化の推進や、乳幼児を連れた保護者が授乳やおむつ替えができる場所を提供する施設「赤ちゃんの駅」の拡充などに取り組む。

- ・ 施設やトイレなどのバリアフリー化
- ・ 「赤ちゃんの駅」の普及

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
バリアフリーマップ登録数	468 か所	600 か所
「赤ちゃんの駅」の登録数	30 か所	35 か所

取組② 誰にもやさしい道づくりの促進〔再掲:4(ア)②〕

全ての人にとってやさしい道づくりとして、歩道や道路の改良や整備を促進するとともに、道路に不具合があった場合に市民などからすぐに通報が来るシステムの活用などに取り組む。

- ・ 歩道の段差解消
- ・ 道路舗装の改善
- ・ 道に関する SNS を活用した通報システムの活用

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
全要望件数に対する ICT を活用した投稿での解決率	1.6%	10.0%

取組③ こころのバリアフリー化・ユニバーサルデザインの促進

部落問題をはじめ、あらゆる人権問題の解決に向け、高齢者や障がい者が気兼ねなく暮らせる住居を確保するため、心理的なハードルや物理的な制約を少なく出来るよう、不動産業者や地域のコミュニティを構成する市民を啓発する取組を行う。

- ・ 不動産業者などに対する啓発の実施
- ・ 市民に対する啓発の実施

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
「差別をなくす市民の集い」への参加者数	369 人	400 人

施策ウ 市民を第一にした行政サービスの実現



取組① 市役所の窓口を始めとした行政サービス改革の実行

市民の利便性向上に加え、市職員の業務の効率化の実現も見据え、マイナンバーの活用などによる市民の来庁機会そのものの削減や来庁時の所要時間の短縮などに取り組む。

- ・ 市民サービスのデジタルファーストの推進
- ・ 来庁しなければならない手続きの削減（回数券の窓口交付の見直しなど）
- ・ 各課窓口における市民対応の強化
- ・ マイナンバーの活用
- ・ 手数料や施設利用料などのキャッシュレス対応

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
改革による窓口滞在削減時間数	—	18,000 時間 (累計)

取組② 市役所の業務改革の実行

ICT の活用などによる行政効率の改善、多様性のある働き方による人材の確保、研修による人材育成などに取り組み、市民及び市職員にやさしい行政機関を目指す。

- ・ 行政運営のデジタルファーストの推進
- ・ ICT を活用した業務改革
- ・ ペーパーレス化の推進
- ・ 研修の充実などによる人材育成
- ・ 外部委員会による事業の必要性・有効性の見直し
- ・ 行政評価システムの強化
- ・ 行政手続きのオンライン化

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
改革による業務削減時間数	—	535 時間(累計)

施策Ⅰ 行政サービスの実現に向けた財源の確保



取組① 新たな財源を活用した取組の強化

新たな財源の活用に関する情報を収集し、本市での適用可能性を検討し、関連する施策や取組への積極的な活用に取り組む。

- ・ 入湯税の活用
- ・ クラウドファンディングの活用
- ・ 企業版ふるさと納税の活用

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
企業版ふるさと納税の寄附金額	—	3億円

取組② 競輪などの既存の事業収益の向上及び活用

新規利用者の獲得を含め、競輪などの既存の財源の収益性を向上させ、市民生活向上の財源として事業収益を一般会計に繰り出し、施策や取組への積極的な活用に取り組む。

- ・ 別府競輪場の広報
- ・ 来場者数の増加

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
別府競輪の事業収益率	3.5%	3.6%

施策オ 文化を切り口にしたまちの可能性の拡大



取組① 文化芸術活動を通じたまちづくりの推進

既存の文化芸術関連施設の更なる活用に加え、まちなかにもアートがあふれ、触れられ、感じられ、訪れるものの心を豊かにしてくれるまちづくりに取り組む。

- ・ 「しいきアルゲリッチハウス」¹³の運営協力
- ・ 個展形式の芸術祭「in Beppu」などへの運営協力
- ・ 音泉タウン音楽会、ベップ・アート・マンスなどのまちなかでの文化芸術イベントの開催
- ・ 「別府市民フィルハーモニア管弦楽団」の活動支援
- ・ まちなかでの文化芸術イベントの開催
- ・ べっぷマーチングフェスティバル（仮）の開催

KPI	現状値[R1]	目標値[R6]
ベップ・アート・マンスの参加者数	14,590 人	20,000 人

取組② 新図書館などの整備及び活用

多層な人々が多様な形で集まりやすい動機や環境をつくり、周辺関連施設と連携した文化拠点となる公共空間づくりに取り組む。

- ・ 家庭や学校、職場以外のサードプレイス¹⁴として、また新しいアイデアを孵化させるイノベーション拠点としての新図書館の整備
- ・ 館整備後の効果的な運営及び活用
- ・ 周辺関係施設との連携
- ・ 整備及び運営にあたっての公民連携手法の導入

KPI	現状値[H30]	目標値[R6]
図書館の登録者数	25,142 人	60,000 人
図書館の一人あたり貸出冊数	2.2 冊	5.0 冊

¹³ 公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団の名誉理事 椎木正和氏から、素晴らしい音楽の時を与えてくれるアルゲリッチへ、尊敬と親愛の証しとして贈られた施設。

¹⁴ 家庭（第一の居場所）、学校や職場（第二の居場所）以外の心地よく過ごせる第三の居場所。

施策力 協働による持続可能な地域づくり



取組① 地域力の維持・向上

地域運営組織を活用した「中規模多機能自治」を推進し、地域がある程度の規模感をもって連携・協働し、相互に支え合って地域の課題に取り組める環境づくりに取り組む。

- ・ 中規模多機能自治の推進
- ・ 地域活動及び市民活動の活性化
- ・ 交流サロンなどの多世代交流の場の創出
- ・ 幅広い世代や主体の参加、参画
- ・ 地域を支える人材の育成
- ・ 地域の歴史・伝統・文化の継承
- ・ ひとまもり・まちまもり自治区形成事業
- ・ 中規模多機能自治拠点の整備

KPI	現状値〔H30〕	目標値〔R6〕
ひとまもり・まちまもり協議会事業実施数	10 件	28 件
ひとまもり・まちまもり協議会交流事業参加者数	1,700 人	4,500 人

施策キ 誰もが安全安心なまちづくり



取組① 誰もが安全安心なコミュニティの形成

災害時でも自らの身を守る術・知識などを身に付けてもらうため、防災におけるダイバーシティ¹⁵の視点をもって、防災組織の設置・運営、防災訓練、災害時の安全確保などに、地域コミュニティと連携して取り組む。

- ・ 防災組織の設置運営
- ・ 防災士資格保有者への研修など、実践力の高い地域の防災リーダーの育成
- ・ 防災教育の充実
- ・ 防災訓練の実施（外国人、高齢者、障がい者を含む）
- ・ 災害備蓄品の有効活用（防災訓練時に使用など）
- ・ 観光客の安全確保
- ・ インクルーシブ防災事業における関係機関への研修

KPI	現状値[R1]	目標値[R6]
中規模多機能自治区主導による 連携防災訓練実施数	1区	7区

取組② 災害に強いまちづくり

市民や観光客の安全安心を確保するため、水道などのライフラインの防災・減災、早期復旧の体制整備などに取り組む。

- ・ 災害時のライフライン供給体制の整備（水道などの耐震化）
- ・ 地域コミュニティとの防災・減災に向けたまちづくりに関する協議

KPI	現状値[H30]	目標値[R6]
配水池の耐震化率	40.5%	50.6%
基幹管路の耐震適合率	46.2%	49.2%

¹⁵ 多様性のことで、性別、世代、国籍、障がいの有無などの違いのこと。多様な人材に活躍の機会を提供し、従業員の様々な個性を基とした違いを企業内に取り入れ、活用することにより組織力と競争力の強化を目的として取り組む組織が増えている。

施策ク 健幸を実現するまちづくり



取組① 全ての世代の活躍に向けた健康寿命延伸の推進

健康教室や保健指導などによる生活習慣病の改善、地域による健康づくりに関する取組や住民の健康への意識向上を図り、平均寿命と健康寿命の延伸、平均寿命と健康寿命の差の縮小の実現に取り組む。

- ・ 温泉などの地域特性を活用した健康づくりの3要素（「栄養・食生活」「運動・身体活動」「休養・こころの健康」）の改善支援
- ・ 民間事業者などと連携した市民の健康意識の向上に向けた啓発

KPI	現状値[H30]	目標値[R6]
健康寿命延伸事業の参加者数	—	10,000人 (累計)

取組② 「ゆけむり医療ネット」と連携した医療・保健・福祉環境の強化

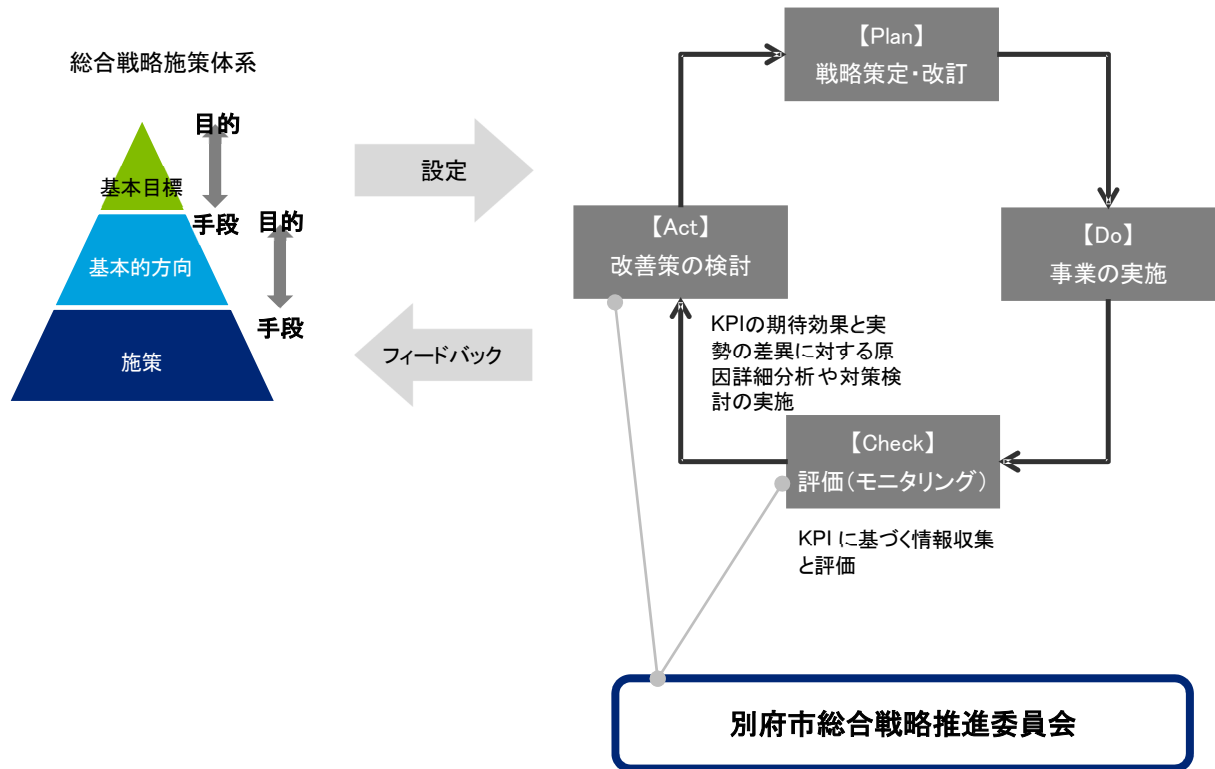
別府市医師会を中心とした地域医療・保健・福祉を連携する医療情報ネットワーク「ゆけむり医療ネット」と連携し、医療の質の向上などに取り組む。

- ・ ゆけむり医療ネットの運用推進
- ・ 薬情報の共有地域の拡大に向けた支援

KPI	現状値[H30]	目標値[R6]
「ゆけむりあんしんパレットち」 ^[z1] 登録者数	—	6,500人(累計)

第4 施策効果の検証などの実施

施策効果の検証と改善については、その着実な実現に向け、市民や各種団体などの参画を得て、平成 28 年度に設置した別府市総合戦略推進委員会にて、各取組などの調査・検証を行い、その結果に基づく見直し・改善を実行しながら、必要に応じて総合戦略を改訂し、持続可能なまちの創造に向けて、挑戦を続ける。



まち・ひと・しごと創生

第2期別府市総合戦略

～まちをまもり、まちをつくる。

べっぷ未来共創戦略～

発行年月：令和2年3月（令和4年3月一部改訂）

発行：別府市企画戦略部政策企画課

〒874-8511 大分県別府市上野口町1番15号

TEL (0977) 21-1122

E-MAIL : pco-pf@city.beppu.lg.jp